

修士論文のまとめ方

1. 作成にあたっての注意点

【使用言語】

- ・ 修士論文およびその他の提出物で使用する言語は、日本語または英語とします。

【ファイル形式・体裁】

- ・ ファイル形式は、必ずPDF形式(PDF/A推奨)で提出してください。
- ・ 標題紙および論文要旨の所定書式は、「塾生サイト」からダウンロードしてください。
<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gsmg/class/thesis-degree/master.html#check>
- ・ フォントサイズ、ページ余白の指定はありません。
- ・ 論文データ提出後に、メディアセンターにて印刷、製本作業を行います。製本作業に伴い、原則としてすべてA4サイズ片面1ページで作成してください。図表を挿入する等の理由でA3で作成したい場合、事前に学事担当に相談してください。
- ・ 設計図、作品、ソフトウェア等の付録（添付物）を提出したい場合、事前に学事担当に相談してください。（模型等の作品は受け付けません。）
- ・ 印刷・PDF化できない動画データ／音声データ等がある場合は、**修士論文のPDFファイルに埋め込みはせず、必ずCD-ROMなど付録（添付物）として提出してください。**
PDFファイルに埋め込んで提出された場合、製本作業時に出力・印刷ができないことがあり、以下の対応を取ることがあります。
 - 埋め込まれている動画／音声を削除し、該当箇所に以下の一文を記載
「※印刷・複製にあたりこの動画は削除しました 湘南藤沢メディアセンター」
 - 代替画像への差し替え
 これらの対応は、製本作業にのみ適用するもので当該論文の電子公開についてはPDFをそのまま公開します。ただし、電子公開における該当箇所の再現は保証しません。

【その他】

- ・ 修士論文（審査用）を提出する際に、**論文データとは別に、**概要（和文）・概要（英文）・キーワード（5つ程度）を入力していただきますので、事前に準備してください。
※ 英語で論文を執筆する場合は、概要（和文）は必須ではありません。
- ・ 修士論文は、執筆者の許諾に基づき、e-KAMO System (Keio Archives in Multimedia Online System, 湘南藤沢メディアセンターが構築したSFC関連情報のマルチメディアオンラインデータベース) で公開します。
<https://auth.lib.keio.ac.jp/db/?key=ekamo>
※ 学外のネットワークからアクセスする場合はVPN接続をしてください。
VPNサービスについて
https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/ja/network_cns_vpn2.html

2. 修士論文の構成・体裁

構成は、必ず以下の通りにしてください。

(日本語で論文を執筆する場合)

1. 標題紙
2. 論文要旨（和文）
3. 論文要旨（英文）
4. 目次 * 省略可
5. 論本文

(英語で論文を執筆する場合)

1. 標題紙
2. 論文要旨 (英文)
3. 論文要旨 (和文) *省略可
4. 目次 *省略可
5. 論文本文

標題紙と論文要旨の体裁は、以下の通りにしてください。

(標題紙・和文)

修士論文 2021年度
[論文題目]
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
[氏名]

- ・大学院名・氏名を記載してください。
- ・標題紙にはページ付けはしないでください。

(標題紙・英文)

Master's Thesis (Academic Year 2021)
[Title]
Keio University Graduate School of Media and Governance
[Name]

・年度を記載してください。

(論文要旨・和文)

修士論文2021年度
[論文題目]
[論文要旨]
.....
.....
[キーワード1 2 3 4 5]
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
[氏名]

(論文要旨・英文)

Master's Thesis Academic Year2021
[Title]
[Summary]
.....
.....
[Key Words 1 2 3 4 5]
Graduate School of Media and Governance Keio University
[Name]

・ページ下部にキーワードを
記載してください。

- ・ 論文要旨には、必ず論文の主要な内容にかかわるキーワード5つ程度を下部に別記してください。
- ・ ページ数は、**標題紙には振らず、論文要旨から振ってください。**
- ・ 英語で論文を執筆する場合は、論文要旨 (和文) は必須ではありません。

- ・ 論文本文の体裁は以下に示す「まとめ方の例」に準じてまとめてください。ただし、章・節のたて方、章・節の名称、順序などは自由です。また、*印は記述内容例です。

論文本文「まとめ方の例」

第1章 はじめに（序章）

- * 研究のきっかけ・成り立ち
- * 研究の目的・意義

第2章 研究の背景

- * 国内外の研究状況
- * 研究の動向

第3章 研究の概要

- * 研究の概要
- * 研究の特徴・独創性（他の研究との相違を明記する）
- * 期待する成果
- * 研究の方法

第4章～第○○章 研究成果

- * 研究アプローチ・結果の詳細
- * 作品・プログラム等の説明
- * 特徴ある研究成果の主張

第○○章 おわりに（結言）

- * 研究成果のまとめ
- * 今後の課題

謝辞

参考文献

- * 引用文献リスト

（本文中に引用した参考文献の文献番号または著者名等を明記し、研究と参考文献との関係を明らかにする）

付録